

2022年3月20日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第64巻第51号(通算3279号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072
大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

主任担任教師・牛田 匡 牧師
担任教師・水谷 憲 牧師
隠退教師・小林 達夫 牧師

しゅうほう 週報

教会標語

かみさま ひと とち
神様がすべての人と共におられる
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)
<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

郵便振替：00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」
【集会案内】こどもの礼拝：毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝：毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

丈夫な人には医者はいらないが、具合の悪い人には、必要なのだ。実に、私が来たのは、「正統派の人」を招くためではなく、「道をふみはずした者」を招くためである。(マルコによる福音書2:17)

レント (受難節) 第3主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

- 前奏 (黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)
- 招きの詞 詩編 31編 8節
- 賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(1-3節のみ) (©JASRAC)
- 消灯の詞
- 賛美歌 21-314番「神の国の命の木よ」(©讚美歌改訂委員会)
- 聖書 マルコによる福音書 8章 27-37節
- お祈り
- 賛美歌 21-422番「主よ、この時代に」(©讚美歌改訂委員会)
- メッセージ 「私を救うもの」 牛田 匡 牧師
- 賛美歌 21-499番「平和の道具と」(©JASRAC)
- 主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)
- 献げ物 (*)
- 派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)
- 祝福 牛田 匡 牧師
- 後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)
- 報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

まね ことば
招きの詞 詩編 31 編 8 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

⁸私はあなたの慈しみに^{おど}躍り上がって喜びます。

あなたは私の苦しみを見つめ

私の魂の苦悩を知っておられる。

しょうとう ことば
消灯の詞 (参照：ヨハネによる福音書 12 章 35, 36 節)

ししきしゃ イエス様は言われます。

「^{くらやみ なか ある もの}暗闇の中を歩く者は、^{じぶん}自分がどこへ行くのかわからない」

みんな 「^{ひかり こ}光の子となるために、^{ひかり しん}光を信じなさい」

ししきしゃ イエス様は最後まで、^{でし}弟子たちのために^{いの}祈ってくださいました。

聖書 マルコによる福音書 8 章 27-37 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

²⁷ イエスは、弟子たちとフィリポ・カイサリアの村々へ出かけられた。その途中、弟子たちに、「人々は、私のことを何者だと言っているか」とお尋ねになった。²⁸ 弟子たちは言った。「洗礼者ヨハネだと言っています。ほかに、エリヤだと言う人、ほかに、預言者の一人だと言う人もいます。」²⁹ そこでイエスがお尋ねになった。

「それでは、あなたがたは私を何者だと言うのか。」ペトロが答えた。「あなたは、メシアです。」³⁰ イエスは、ご自分のことを誰にも話さないようにと弟子たちを^{いまし}戒められた。

³¹ それからイエスは、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちによって^{はいせき}排斥されて殺され、三日の後に復活することになっている、と弟子たちに教え始められた。³² しかも、そのことをはっきりとお話しになった。すると、ペトロはイエスを脇へお連れして、いさめ始めた。³³ イエスは振り返って、弟子たちを見ながら、ペトロを叱って言われた。「サタン、引き下がれ。あなたは神のことを思わず、人のことを思っている。」³⁴ それから、群衆を弟子たちと共に呼び寄せて言われた。「私の後に従いたい者は、自分を^a捨て、自分の十字架を負って、私に従いなさい。³⁵ 自分の命を救おうと思う者は、それを失うが、私のため、また福音のために自分の命を失う者は、それを救うのである。³⁶ 人が全世界を手に入れても、自分の命を損なうなら、何の得があろうか。³⁷ 人はどんな代価を払って、その命を買い戻すことができようか。

(脚注 a：別訳「否定し」)

《先週のメッセージより》2022年3月13日 受難節第2主日礼拝

「外に立つ」

牛田 匡 牧師

聖書 マルコによる福音書 3章 20-30節

先週から、イエス様が十字架に架けられていく道を思い起こす受難節を過ごしています。私たちが「十字架を見上げ」、イエス・キリストの「死と復活を覚える」と言う時、それは十字架に架けられるに至るまでのイエス様の言葉と振る舞いに目を注ぐということと不可分のことであり、真実の命に生きたイエス様の生き様に従って、私たちもまた真実の命を生きようとする事なのではないかと思えます。そしてそれは多くの場合、世の価値観から外れている生き方でした。

今回の聖書のお話からは、イエス様が律法学者たちと対立していただけではなく、親しいはずの身内、イエス様のことを理解しているはずの家族からさえも「気が変になっている」と思われていたということが分かります。それ程にイエス様の言葉と振る舞いは、当時の社会常識から外れていたのでしょう。病気のため、悪霊に憑りつかれていて穢れているから、交わってはいけないと言われていた方々と、イエス様は積極的に交わり、その悪霊を追い出しました。実際には、精神的に錯乱状態にあった人たちが、イエス様との交わりの中で落ち着きを取り戻したということだったと考えられますが、その様子を遠巻きに眺める人々からは「あんな人々と接しているあの男もまた悪霊に憑りつかれていて、穢れている」と蔑まれていました。しかし、イエス様はそんな周囲からの評価、世間の中心に近い権力者たちからの非難にも、また親しいはずの身内からの誤解にもめげず、流されず、常識の「外に立つ」ご自身の道を歩まれました。

「上のものが下になり、後のものが先になる」世の価値観を逆転させる神の国の価値観。命の神は誰と共にどこに働いておられるか。常に世間の常識の外とされる場所に立ち、価値がないと見なされていた人々と共に歩まれたイエス様。見えなくされていたものに、目と心を注がれていたその生き様に、私たちも従う者へと変えられていきたいと願います。今、世界中が悲鳴を上げています。ウクライナとロシアで行われている戦争では、たくさんの偽の情報が発信されていますが、多くの人々の血が流され、苦しめられていることは明白です。全世界の人々が核兵器の使用に脅えています。それらは命の神の御心に反することです。剣に対して剣を取るのではなく、非暴力と不服従をもって世界中の人たちが声を上げることを通して、この愚かな戦いが一刻も早く終わられるように祈ると共に、命の神の目が注がれているところ、弱く小さくされ私たちに必要とされている方々の隣に、私たちは今日もイエス様と共に遣わされていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 3月13日 受難節第2主日礼拝

礼拝出席 大人 4名 中継動画再生数 10回
 献金 大人 5,000円 感謝

◎次週 2022年3月27日(日) レント(受難節) 第4主日礼拝

(今年の「レント」(受難節・四旬節)は3/2~4/16です。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかを考える時です)

招きの詞 詩編 27編 13-14節(*礼拝はインターネットで中継配信いたします)
 聖書 コリントの信徒への手紙II 4章 1-12節
 メッセージ「闇から光が輝き出でよ」牛田匡牧師
 賛美歌 21-392番(©改訂委)、21-505番(©P.D.)、21-500(©教団出版局)

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症の感染爆発「第6波」が続いています。大阪府の「まん延防止等重点措置」は明日21日までで解除されますが、医療現場のひっ迫した状況は続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・2022年4月~2023年2月にかけて、毎月第2火曜日18時半~20時にかけて、聖書講座「マルコ福音書をジックリと読む」(講師:山口里子さん)がオンラインで開催されます。最初の福音書といわれる「マルコによる福音書」を少しずつジックリ読み進める学びの第5期で、9章33節から読み進める予定です。フェミニスト神学、ポストコロナル神学、クイア神学、障害の神学、さらには環境神学などからの新しい聖書の読み方も随時紹介していきます。「温故知新」のような学びを通して、イエスが語ったことの真意、また当時の人々のこと、そして私たちの人生なども新しくご一緒に思い巡らしませんか?主催は日本クリスチャンアカデミーと早稲田奉仕園の共催で、参加費は全10回で、一般8,000円、学生4,000円です。お申込みは右QRコードより、もしくは「早稲田奉仕園」のホームページよりお申込みください。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
3/27	牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援
4/3	岡嶋伝道師	ユウカリスト・教会を考える会
4/10	水谷牧師	(午後・2022年度定期教会総会)
4/17	牛田牧師	イースター礼拝・愛餐会?

日本クリスチャンアカデミー・早稲田奉仕園共催 2022 聖書講座

マルコ福音書を ジックリと読む 第5期

ZOOMの使い方はとっても簡単! メールで送られたURLをクリックするだけでOK!

最初の福音書といわれる「マルコによる福音書」を少しずつジックリ読み進める学びの第5期です。フェミニスト、ポストコロナル、クイア、障害の神学、さらには環境神学などからの新しい読み方も随時紹介していきます。
 「温故知新」のような学びを通して、イエスが語ったことの真意、また当時の人々のこと、そして私たちの人生なども新しくご一緒に思い巡らしませんか? ひとつの解釈を絶対化せず、「思ひない、自由も尊重し合う、そんな楽しく刺激的な学びの時」と願っています。今期は9章33節から読み進めます。
 (ZOOMを使用したオンライン受講のみとなります)

講師 山口里子さん(聖書学者)
 日本聖書神学校、米国ハーバード大学神学部、エビスコバ/ル神学校で学び、博士号取得の後、ストーリーポイント・センター、ニューヨーク神学校、ニューアーク神学校で教職を執る。韓国、恵康女学園大学、聖心女子大学、日本聖書神学校、聖公会神学院、農村伝道神学校等にて講師を歴任、日本フェミニスト神学・宣教センターにて共同ディレクターを長く務めた。

日時 2022年4月~2023年2月 18時30分~20時 (曜2回/週81回)

① 4月12日 ② 5月10日 ③ 6月14日 ④ 7月12日 ⑤ 9月13日
 ⑥ 10月11日 ⑦ 11月8日 ⑧ 12月13日 ⑨ 1月10日 ⑩ 2月14日

参加費 全10回(一般)8000円 (アカデミー/早稲田奉仕園賛助会員)7000円
 (学生)4000円
※全10回の参加費となります。1回ごとの参加はできません。一括でお申し込みください。

お申込み 早稲田奉仕園ホームページ「Program キリスト教講座」よりお申込みください

早稲田奉仕園プログラム
検索

公益財団法人 早稲田奉仕園 東京都新宿区西早稲田 2-3-1
 TEL: 03-3205-5403 / MAIL: program@hooshien.or.jp / http://www.hooshien.jp
 日本クリスチャンアカデミー 関東活動センター 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教団1階
 TEL: 03-3207-9198 / MAIL: info@academy-tokyo.com / http://www.academy-tokyo.com/